



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	309,000,000株	2021年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	79株	2021年12月期	31株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	308,999,948株	2021年12月期3Q	308,999,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客さまの嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客さまとともに新たなおいしさ、健やかさ、楽しさを創造し続け、それぞれの市場で最も愛される会社となることを目指すという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて収益力の強化にも取り組みました。

当第3四半期連結累計期間（2022年1月1日～9月30日）において、売上収益の更なる成長を目指し攻め続けた結果、当社グループは力強い成長を継続しました。年初より全セグメントでコアブランドへの集中活動を継続した結果、主要国において引き続きシェアを拡大しました。

売上収益は、全セグメントでの販売数量の増加に加え、海外における価格改定を含めたRGM（レベニューグロースマネジメント）が寄与し、当社グループ合計で想定を上回る進捗となりました。

営業利益は、原材料価格・エネルギー価格の高騰及び為替影響を大きく受ける中、売上収益の伸長と全セグメントにおけるコスト削減活動の徹底により、当社グループ合計で増益を確保しました。

なお、事業ポートフォリオ見直し及び構造改革に引き続き取り組み、アジアパシフィック及び欧州セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に一時的な構造改革費用を計上しました。

当第3四半期連結累計期間の連結売上収益は1兆814億円（前年同期比14.8%増、為替中立9.3%増）、連結営業利益は1,150億円（前年同期比14.6%増、為替中立7.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は680億円（前年同期比14.5%増、為替中立8.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [日本事業]

第2四半期連結会計期間以降の需要の回復が継続していることや、好天の影響もあり、清涼飲料市場（当社推定）は前年同期を上回りました。引き続き水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、新商品発売やマーケティング活動が貢献した結果、当社販売数量は前年同期を大きく上回り、当第3四半期連結累計期間において過去最高の販売数量を達成するとともに、市場シェアを更に拡大しました。ブランド別には、「サントリー天然水」、「伊右衛門」及び「GREEN DA・KA・RA」が、当第3四半期連結累計期間において、過去最高の販売数量となりました。「BOSS」は、ブランド全体の販売数量が前年同期並みとなりました。「クラフトボス」は、2月にリニューアルしたコーヒー及び紅茶シリーズが引き続き伸長しました。特定保健用食品・機能性表示食品の合計は、4月にリニューアルを実施した「特茶」が引き続き好調に推移していることに加え、「伊右衛門濃い味（機能性表示食品）」、「サントリー烏龍茶OTTP（機能性表示食品）」がともに増分に寄与しました。

売上収益は、販売数量の増加によりチャネル構成悪化を吸収し増収、概ね想定通りの進捗となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長やサプライチェーンのコスト削減活動を含めたコストマネジメントを徹底したことにより増分利益を獲得しましたが、円安及び原材料価格高騰の影響が想定を大きく上回り、減益となりました。

日本事業の売上収益は4,962億円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は286億円（前年同期比20.8%減）となりました。

#### [アジアパシフィック事業]

アジアパシフィックでは、清涼飲料事業及び健康食品事業のコアブランド集中活動を継続しました。特に、ベトナムの力強い伸長が、事業を大きく牽引しました。

売上収益は、販売数量の伸長に加え、主要市場における機動的な価格改定も寄与し、想定を上回る進捗となりました。

セグメント利益については、原材料価格高騰の影響を大きく受けましたが、売上収益の伸長により吸収し、想定通りの進捗となりました。

主要国別には、ベトナムでは、特にエナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」が大きく伸長し、シェアを拡大しました。タイでは低糖製品を含め「Pepsi」が好調に推移し、炭酸カテゴリーにおいてシェアを維持しました。健康食品事業では、主力の「BRAND'S Essence of Chicken」に注力しました。オセアニアでは、主力ブランドであるエナジードリンク「V」へのマーケティング活動継続により、ニュージーランド及びオーストラリアで引き続き販売数量が前年同期を上回って推移しております。

アジアパシフィック事業の売上収益は2,636億円（前年同期比22.6%増、為替中立9.9%増）、セグメント利益は

460億円（前年同期比49.3%増、為替中立35.2%増）となりました。

#### [欧州事業]

欧州では、需要が引き続き堅調だったことに加え、好天の影響もあり、フランス、英国、スペインともに販売数量が伸長しました。価格改定も寄与し、売上収益は想定を大きく上回る進捗となりました。

セグメント利益については、原材料価格及びエネルギー価格高騰の影響が更に拡大しましたが、販売数量の伸長と価格改定を含めたRGMによる売上収益の大幅な増加により吸収しました。

主要国別には、フランスでは、好天の影響に加えて、家庭用及び業務用において堅調な需要が継続しました。主力ブランド「Orangina」、「Oasis」及び「Schweppes」の販売数量が二桁増と大きく伸長し、シェアを拡大しました。英国では、引き続き堅調な需要を受け、主力ブランド「Lucozade」が堅調に推移したことに加え、価格改定を含めたRGMも寄与しました。スペインでは、業務用の需要回復が本格化したことを受け、主力ブランド「Schweppes」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。

欧州事業の売上収益は2,249億円（前年同期比26.4%増、為替中立20.2%増）、セグメント利益は364億円（前年同期比13.1%増、為替中立7.3%増）となりました。

#### [米州事業]

米州では、主力炭酸ブランドや伸長する非炭酸カテゴリーの活動を強化したことにより、販売数量が引き続き堅調に推移しました。売上収益は、価格改定を含めたRGMも寄与し、想定を上回る進捗を継続しました。

セグメント利益については、売上収益の伸長により、原材料価格や物流費及び人件費高騰の影響を吸収し、想定を上回る進捗となりました。

米州事業の売上収益は966億円（前年同期比30.2%増、為替中立10.2%増）、セグメント利益は126億円（前年同期比34.8%増、為替中立14.1%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物、売上債権及びその他の債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,585億円増加して1兆8,354億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の増加等により前連結会計年度末に比べ383億円増加して7,713億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,202億円増加して1兆641億円となりました。

#### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ305億円増加し、2,071億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益1,148億円、減価償却費及び償却費539億円、仕入債務及びその他の債務の増加619億円、棚卸資産の増加192億円、子会社株式売却損益160億円、売上債権及びその他の債権の増加494億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ53億円減少し、1,313億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出409億円等に対し、子会社の売却による収入178億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ147億円減少し、237億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出387億円、配当金の支払241億円、非支配持分への配当金の支払130億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ152億円減少し、857億円の支出となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び、第4四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、2022年2月14日に発表した業績予想を、以下の通り修正します。

厳しいコスト環境が続く想定の下、全セグメントでのコアブランド集中活動の強化による販売数量の伸長及び価格改定を含めたRGM強化により、売上収益を伸ばしてまいります。加えて、サプライチェーン等のコスト削減活動の更なる徹底により、コスト増による利益への影響を吸収・軽減していくことで、業績予想達成を目指してまいります。

2022年12月 通期連結業績予想の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,369,000	125,500	124,000	88,500	73,500	237.86
今回修正予想 (B)	1,453,000	140,500	139,500	98,000	79,500	257.28
増減額 (B-A)	84,000	15,000	15,500	9,500	6,000	-
増減率 (%)	6.1%	12.0%	12.5%	10.7%	8.2%	-
(ご参考) 前期実績	1,268,917	118,568	117,052	83,029	68,676	222.25

主要在外会社損益の為替換算レートは以下の通りです。

前回発表予想：米ドル115.0円 ユーロ130.0円 英ポンド154.0円 シンガポールドル84.0円 タイバーツ3.4円 ベトナムドン0.0050円  
今回修正予想：米ドル133.0円 ユーロ138.0円 英ポンド161.0円 シンガポールドル95.0円 タイバーツ3.7円 ベトナムドン0.0057円

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	176,655	207,125
売上債権及びその他の債権	240,584	299,645
その他の金融資産	1,252	4,770
棚卸資産	87,807	107,996
その他の流動資産	23,953	25,912
流動資産合計	530,253	645,450
非流動資産		
有形固定資産	372,337	381,404
使用権資産	52,260	50,586
のれん	255,599	265,584
無形資産	430,086	461,777
持分法で会計処理されている投資	1,005	1,330
その他の金融資産	13,847	14,729
繰延税金資産	14,173	7,662
その他の非流動資産	7,362	6,866
非流動資産合計	1,146,673	1,189,941
資産合計	1,676,926	1,835,392

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	55,789	57,437
仕入債務及びその他の債務	354,595	424,041
その他の金融負債	30,877	32,490
未払法人所得税等	14,757	22,193
引当金	2,016	2,273
その他の流動負債	5,529	9,424
流動負債合計	463,565	547,860
非流動負債		
社債及び借入金	109,558	64,796
その他の金融負債	54,241	47,063
退職給付に係る負債	14,697	15,256
引当金	4,312	4,874
繰延税金負債	81,403	86,423
その他の非流動負債	5,196	4,999
非流動負債合計	269,409	223,414
負債合計	732,974	771,274
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,423	182,229
利益剰余金	536,996	580,470
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△27,210	33,715
親会社の所有者に帰属する持分合計	860,593	964,799
非支配持分	83,358	99,318
資本合計	943,952	1,064,117
負債及び資本合計	1,676,926	1,835,392



(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益	941,821	1,081,394
売上原価	△548,008	△664,736
売上総利益	393,812	416,658
販売費及び一般管理費	△292,367	△311,620
持分法による投資損益	64	238
その他の収益	1,561	18,395
その他の費用	△2,741	△8,713
営業利益	100,329	114,958
金融収益	612	1,383
金融費用	△1,495	△1,511
税引前四半期利益	99,446	114,830
法人所得税費用	△29,192	△32,719
四半期利益	70,253	82,111
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	59,408	68,020
非支配持分	10,845	14,090
四半期利益	70,253	82,111
1株当たり四半期利益(円)	192.26	220.13

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	70,253	82,111
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	250	277
確定給付制度の再測定	△147	55
純損益に振り替えられることのない項目合計	102	332
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	23,452	73,058
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	1,376	1,036
持分法投資に係る包括利益の変動	48	198
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	24,877	74,293
税引後その他の包括利益	24,979	74,626
四半期包括利益	95,233	156,737
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	81,559	128,307
非支配持分	13,674	28,429
四半期包括利益	95,233	156,737

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日	168,384	182,414	492,451	△0	△61,495	781,755	77,801	859,556
四半期利益			59,408			59,408	10,845	70,253
その他の包括利益					22,151	22,151	2,828	24,979
四半期包括利益合計	—	—	59,408	—	22,151	81,559	13,674	95,233
配当金			△24,101			△24,101	△10,878	△34,980
非支配持分との取引 利益剰余金への振替		△34				△34	25	△8
			△13		13	—		—
所有者との取引額合計	—	△34	△24,115	—	13	△24,136	△10,853	△34,989
2021年9月30日	168,384	182,380	527,744	△0	△39,330	839,178	80,622	919,801

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月1日	168,384	182,423	536,996	△0	△27,210	860,593	83,358	943,952
四半期利益			68,020			68,020	14,090	82,111
その他の包括利益					60,287	60,287	14,339	74,626
四半期包括利益合計	—	—	68,020	—	60,287	128,307	28,429	156,737
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△24,101			△24,101	△12,471	△36,573
非支配持分との取引 利益剰余金への振替		△193	193			—	1	1
			△639		639	—		—
所有者との取引額合計	—	△193	△24,547	△0	639	△24,102	△12,469	△36,572
2022年9月30日	168,384	182,229	580,470	△0	33,715	964,799	99,318	1,064,117

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	99,446	114,830
減価償却費及び償却費	52,359	53,860
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	293	1,903
受取利息及び受取配当金	△337	△945
支払利息	1,429	1,453
持分法による投資損益(△は益)	△64	△238
子会社株式売却損益(△は益)	—	△16,020
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,894	△19,241
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△24,667	△49,360
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	38,773	61,942
その他	△350	4,521
小計	157,987	152,704
利息及び配当金の受取額	314	419
利息の支払額	△1,739	△1,123
法人所得税の支払額	△19,929	△20,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,633	131,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△37,296	△40,852
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	549	314
事業譲受による支出	△2,196	—
子会社の売却による収入	—	17,840
その他	490	△1,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,453	△23,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△43,902	△6,402
長期借入れによる収入	11,188	6,577
長期借入金の返済による支出	△27,820	△38,672
社債の発行による収入	19,927	—
社債の償還による支出	△15,000	—
リース負債の返済による支出	△9,964	△10,128
配当金の支払額	△24,101	△24,101
非支配持分への配当金の支払額	△11,236	△12,953
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,910	△85,682
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,730	21,867
現金及び現金同等物の期首残高	167,480	176,655
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,682	8,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	166,433	207,125

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。